

きっかけをつなぐ旅によう「パスポート」

PASSPORT.

vol. 79
FREE PAPER
地域の出来事に触れる
ソーシャルマガジン

とくしま市活センター TOKUSHIMA NPO CENTER

徳島市市民活力開発センターとは？

徳島市市民活力開発センター（市活センター）ではNPO活動の支援、行政との協働事業を推進するための拠点として、徳島市や周辺の11市町村（徳島東部地域定住自立圏）に活動の場を持つNPO団体へさまざまなサポートを行っています。指定管理者として、認定特定非営利活動法人新町川を守る会が運営しています。

開館日

火～土曜日 10:00～21:00 / 日曜・祝日 10:00～18:00

休館日

月曜日 ※月曜日が祝日にあたる場合はその翌日
年末年始・お盆

連絡先

[TEL] 088-611-3886
[FAX] 088-624-3860
[mail] nposhimin@fm.nmt.ne.jp
[H P] www.tokushima-shikatsu.com



ACCESS MAP



所在地
〒770-0847 徳島市幸町3-71-1 幸町会館1階

お車でお越しの方
当センターの駐車場（1台分）もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

バイク・自転車でお越しの方
センター東側の駐輪場をご利用ください。

NPO法人 補助犬とくしま



ごみゼロフォーラム実行委員会

とくしま市活センター

PASSPORT.

発行月：2021年10月 号数：79号 発行：徳島市市民活力開発センター
この広報誌に関するご意見、ご感想は、発行元である徳島市市民活力開発センター（088-611-3886）までご連絡下さい。

イベント情報大募集！！

PASSPORTへの掲載や、メールマガジンでの配信、徳島市市民活力開発センターの掲示板へ配置させていただく情報を随時募集しております。「取材に来てほしい！」「こんなイベントするよ！」といったお声をお待ちしております！





中四国初の取り組み！ 補助犬の可能性を広める。



徳島あるいは全国的にもまだまだ認知度は少ない「補助犬」について啓発活動や育成の支援を行う『NPO 法人補助犬とくしま』令和元年に設立し中四国初の取り組みとされるこの団体の活動について理事長である杉井ひとみさんへと話を伺いました。

盲導犬に比べ介助犬や聴導犬については認知がされていないだけではなく、その待遇にも大きな差があったという。中にはお店への入店を断られたりすることもあったりと、育成環境を整えるだけではなく、世間への周知・啓発活動も欠かせないそこで、杉井さんは想いに共感してくれたメンバーとともに法人を立ち上げることを決意した。

中四国初の挑戦

補助犬とくしまでは、徳島から補助犬の重要性について発信すべく、介助犬と聴導犬の育成や啓発活動を行っている。こういった取り組みをしているのは中四国初とのこと。動物愛護管理センターで保護された犬を引き取り、ボランティアを募って育てているそう。パピーウォーカーやセラピードッグトレーナー・ペット介護ステーション『ジュエル』の家庭犬しつけトレーナーが中心となり、しつけを行う。まずは家庭犬として社会参加できるように愛情を持って育て、可能性のある子は「セラピードッグ」へ育成。セラピードッグとは、高齢者や障害のある人、病気の人に接することで心や身体のリハビリテーション

ンを行う専門の訓練を受けた犬のことである。このような育成過程を経て適正があれば介助犬や聴導犬へ向けて本格的に訓練をしていくのだという。

コロナ禍での活動

新型コロナウイルスが蔓延してからは活動しにくい状況が続く。そんな中でも手作りの啓発グッズを作り販売するなど、補助犬への理解を深めてもらうための活動を続けている。また、厚生労働省が作成した補助犬に関するリーフレットを、少しでも手に取ってもらえるようにと、手作りの葉を作成。その数なんと14,000セットに及ぶ。コロナに負けず自分たちにできる活動を続けているNPO 法人補助犬とくしま。もし補助犬に興味を持ってくれたりあるいは活動に共感してくださる方はぜひ連絡下さいとのことだ。

補助犬とは？

「盲導犬」といえば多くの人がその存在を耳にしたことがあるだろう。では「介助犬」や「聴導犬」、補助犬についてはどうだろうか？ 補助犬とは、盲導犬・介助犬・聴導犬の三者を総称するものとなる。盲導犬は目が見えない、あるいは見えにくい人の歩行を安全にサポートしてくれる。介助犬は手や足に障害のある人の日常生活動作のサポート。具体的には、物を拾って渡したり、指示があるものを持ってきたり、脱衣の介助まで行ってくれる。そして聴導犬は、耳の聞こえない、聞こえにくい人に必要な生活音を知らせてくれる。玄関のチャイム、携帯の着信音、車のクラクションなどを聞き分け、教える。このように、二者ともが障害のある方が自立と社会参加をするための大切なパートナーとして活躍しているのだが、まだまだその認知度は低いのが現状だ。

NPO法人補助犬とくしま設立

令和元年9月、理事長である杉井さんを中心に『NPO 法人補助犬とくしま』が設立された。元々、『徳島の盲導犬を育てる会』に勤めていた経緯もあって、補助犬の実情についてはよく知っていた。

INFORMATION

NPO法人 補助犬とくしま

特定非営利活動法人（NPO法人）補助犬とくしまは、補助犬のパートナーが中心となり徳島県の身体障害者補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）の育成と普及啓発を促進する事業を行い、障がい者福祉向上のための活動を行っています。

〔電話番号〕
070-2614-7003 (10:00~17:00)

〔メール〕
hojoken.tokushima@gmail.com



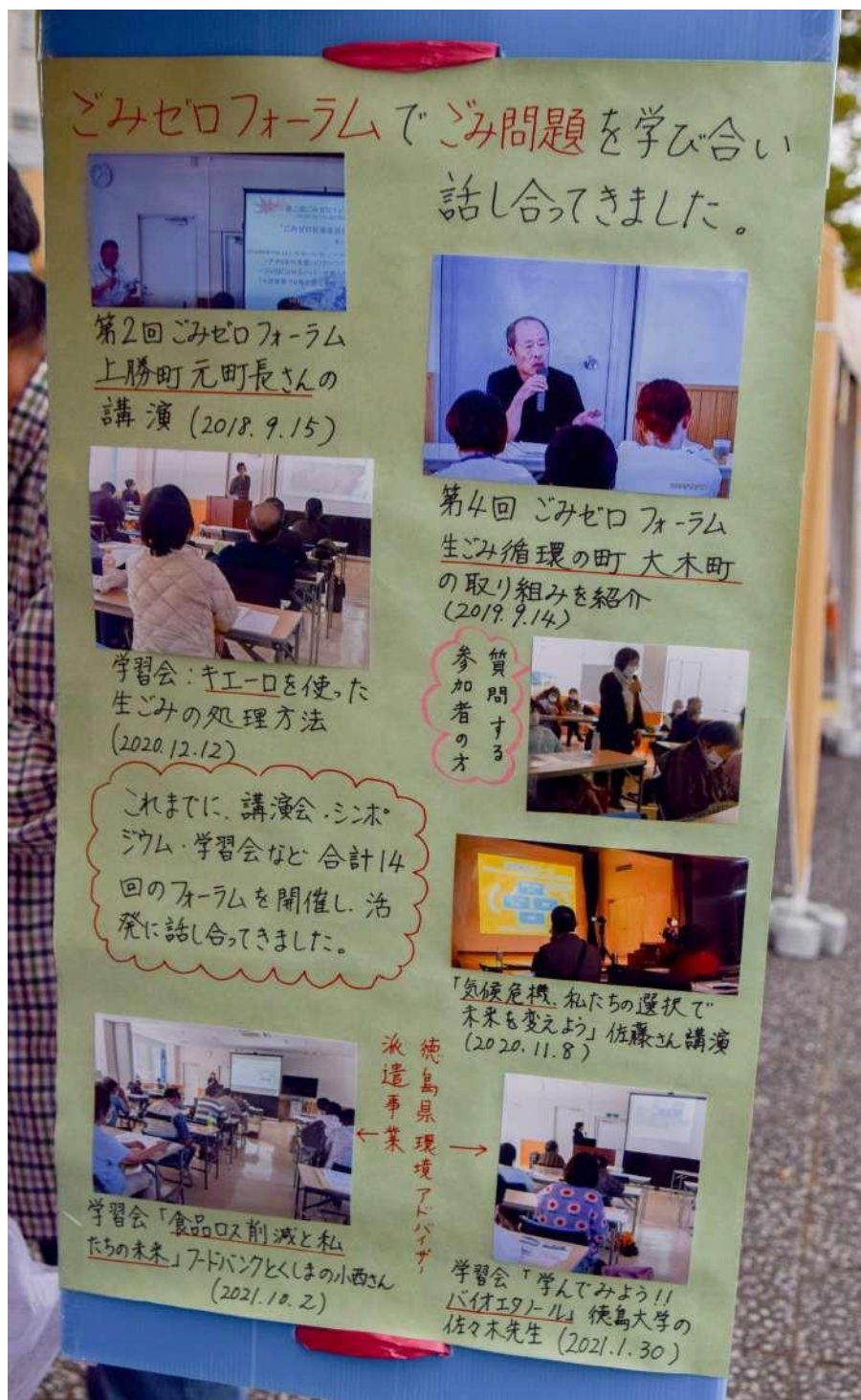
特定非営利活動法人
補助犬とくしま



HP



Facebook



一週間でクレジットカード1枚分!?! 私たちの体を蝕むプラスチックごみの実態

学び合い、話し合う

『ごみゼロフォーラム実行委員会』では、上勝町の『ゼロ・ウェイストセンター』の取り組みや理念を参考に、ごみ問題について「学び合い、話し合う」場づくりを進めています。日頃の活動や「とくしまNPO・ボランティアフェア」での取り組みについて、代表である福井さんにお話を伺いました。

も行っている。

私たちにできること

ロフォーラム実行委員会』では、この上勝町での理念や取り組みを参考に、私たちが住まう徳島市環境問題解決へ向けて活動している。肝心の徳島市の状況はどうなのだろうか？令和1年度のデータにはなるが、1人1日当たりのごみ排出量は1,048g。全国平均は918gであり、類似都市42都市中では上から6番目となる。リサイクル率は13・0%。全国平均は19・6%であり、こちらは類似都市42都市中、下から6番目である。

委員会の取り組みについて

ごみゼロフォーラム実行委員会では、「学び合い、話し合い、行動する」場づくりを大切にしているとのこと。そのための一つの行動が、3のつく日に開催している啓発活動だ。場所はかちどき橋で、ごみを減らすための啓発を促す文言を書いたパネルを持って通行する方々に声掛けをしている。また徳島市への要望書を提出している。例えば、エコステーションの利用者が年ごとに増加傾向にあることを踏まえて、施設の増加を要望するなど、データからの確に情勢を判断し、環境問題改善に向けて行政の協力が必要であることを訴えかけている。他にも、「とくしまNPO・ボランティアフェア」で不用品を無償で配ったりと、イベントに出店して啓発活動

ごみを削減するために、私たちにできることは何なのか？福井さんに尋ねました。「今からできる行動はたくさんあります。マイバックを持ち歩く、トレーをスーパーの回収ボックスへ渡す、なるべく使い捨ての容器に入っているものを買わない、食品ロスの軽減、不要なものを買わない、雑紙は燃えるごみではなくダンボールや紙パックの日に出す・・・など、ぱっと思いつくだけでもこれだけあります。もちろん、分別をきちんとするとごみを減らすことができますし、着なくなった服も組み合わせを工夫するだけでオシャレな着回しができます。」些細なことでも、積み重ねていくことが非常に大切。私たち一人ひとりの行動選択が、徳島市の、地球の環境を変え得るものなのだ、と、認識を深める機会となった。

プラスチックごみの危険性

「私たちは日常生活の中で、1週間で約クレジットカード1枚分のプラスチックを体内に取り込んでいます。福井さんにお話を伺うなかで、この事実が非常に印象に残っている。ごみを始めとする環境問題については、学校教育にも取り入れられていることではあるが、なかなか状況は改善へと向かっていないのが現状だ。福井さんのお話では、ごみの8割が燃やされており、その中でも特に深刻だとされているのが「プラスチックごみ」と言う。これらは「マイクロプラスチック」となり、海だけでなく、大気や土壌にも拡散されている。私たちが普段口に入っている水や魚、野菜にも混入しており、空気からも取り込んでしまっているのだとか。これらが人体に今後どのような影響を及ぼしていくのか、想像するだけで恐ろしい。

上勝町の取り組みを参考に

上勝町でのごみ分別は13種類45品目に分かれており、そのリサイクル率は全国でもトップクラスの実績を誇っている。上勝町にごみ収集車は存在せず、町民は自家用車で町内唯一のゴミステーションまで持ち込んでいるとのこと。『ごみゼ

INFORMATION

ごみゼロフォーラム 実行委員会

ごみゼロフォーラム実行委員会は、ごみの減量、3R(reduce、reuse、recycle)の推進、ゼロ・ウェイストの理念の普及、持続可能な循環型社会の実現目指して活動しています。ご一緒にごみ問題を学び合い、話し合しましょう。

【電話番号】
090-2893-7972

【メール】
yoshinogawa195457@gmail.com



SNSアカウント
はこちら



Facebook

NEWS



↑誰も訪れない会議室はやはり寂しく思います。皆様に使っていただけるのを心待ちにしておりますので、ぜひご予約くださいね。

NEWS 01 センター利用制限の解除について

徳島市市民開発センターは令和3年8月19日(木)より、「コミュニティセンター施設における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」に基づき、施設の一部機能について利用を制限しておりました。しかしながら9月26日に「とくしまアラート」がステージⅡへと引き下げられ、センターの利用制限も10月1日に解除される運びとなりました。利用者の皆様には多大なご不便をおかけいたしました。今後も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願いいたします。



↑立体交差点に生えている草や落ち葉の清掃、こびりついている苔などの排除も行いました。

NEWS 02 NPO法人短期研修

徳島県庁の新規採用職員の方々へ向けて「NPO法人短期研修」を行いました。研修を通してNPOに関する基礎知識や特性を学び、行政とNPOの“協働”に関する要点も勉強していただきました。また、中心市街の清掃活動も行いましたが、清掃前とは見違えるほど綺麗になりました。研修参加者6名、もしいつか彼らがNPOと関わる際には、ぜひこの研修を思い出していただき、役立ててもらえたらと思います。

とくしまNPO・ボランティアフェア

令和3年10月17日、新町川・阿波製紙水際講演で「第16回とくしまNPO・ボランティアフェア」が開催されました。様々な団体が集まっていたようですが、一体どういったイベントなのでしょう？主催者である『とくしま県民活動プラザ』の新居局長に尋ねてみました。



Q どんなイベントなんですか？
徳島県内で活動されている様々なNPO団体・ボランティア団体が出展・出演し、活動体験やステージ発表、物品販売等を行います。参加者は体験を通して各団体の具体的な活動内容を感じることが出来ます。今年は「トモニSunSunマーケット」と同時開催し、より多くの参加者の方々に楽しんでもいただけたのではないかと思います。新型コロナウイルスの影響で開催についての判断はギリギリまで悩み

Q 来年も開催しますか？
ぜひ開催する方向で考えていきたいと思っています。「私たちも出展等したい！」という団体がいらつしやいましたら、まずは『とくしま県民活動プラザ』にご登録ください。イベント開催前に、登録団体へ向けて出店等の募集案内を出させていただきます。もちろん、お客様として参加してくださるのも大歓迎です。

Q どんな団体さんが参加していますか？
環境問題に取り組む団体や、障がい者支援の活動をされている団体など、このイベントに参加するだけで幅広い分野の活動に触れることができることも、このイベントの利点です。ステージ発表では地元を題材としたオリジナルソングを披露されている団体もいらつしやいました。「ずっと活動できてなかったので、こういう場があるのは嬉しい！」と喜んでくださる団体もあり、「コロナ禍においても活動の機会を創出することの大切さを改めて実感しました。来場者は約1600名で、子ども連れのご家族や高齢の方などが多く参加してくださっていたように思います。」

ましたが、やっぱり直接的な触れ合いによる人の温かさは良いですね。



Q&A

ボランティアフェアって何？

とくしま県民活動プラザ

徳島県におけるボランティア・NPO・地域づくりなど社会貢献活動の総合的な支援拠点として、既に活動している方々やこれから始めようとする方々を支援している。会議室や機材の貸出、NPO法人の設立や運営の相談にも対応している。